

05

アーチルの役割機能と 関係機関との連携による地域支援

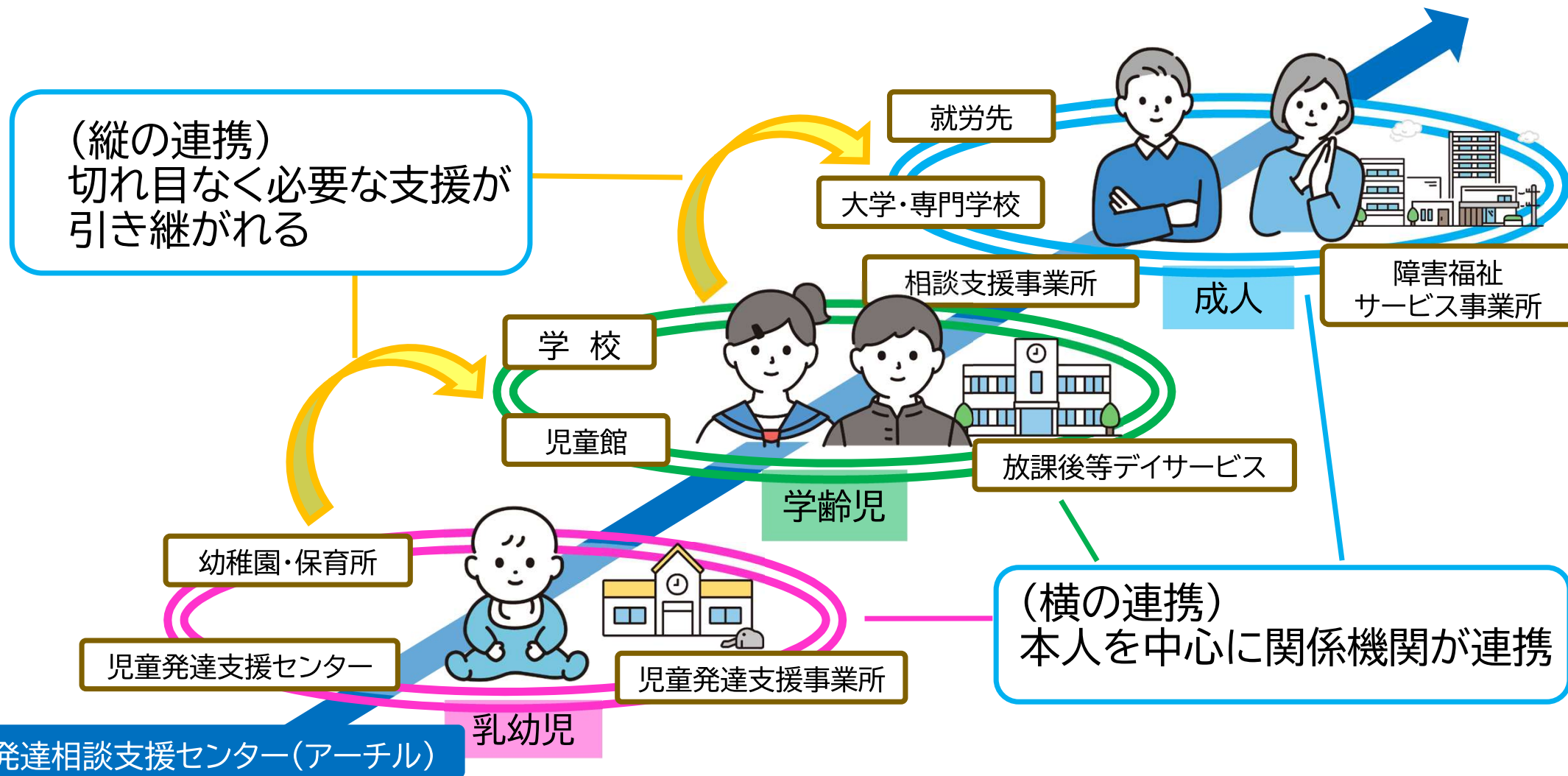
3. 地域での発達支援充実にむけた関係機関との連携

アーチル発達障害基礎講座 第二部③

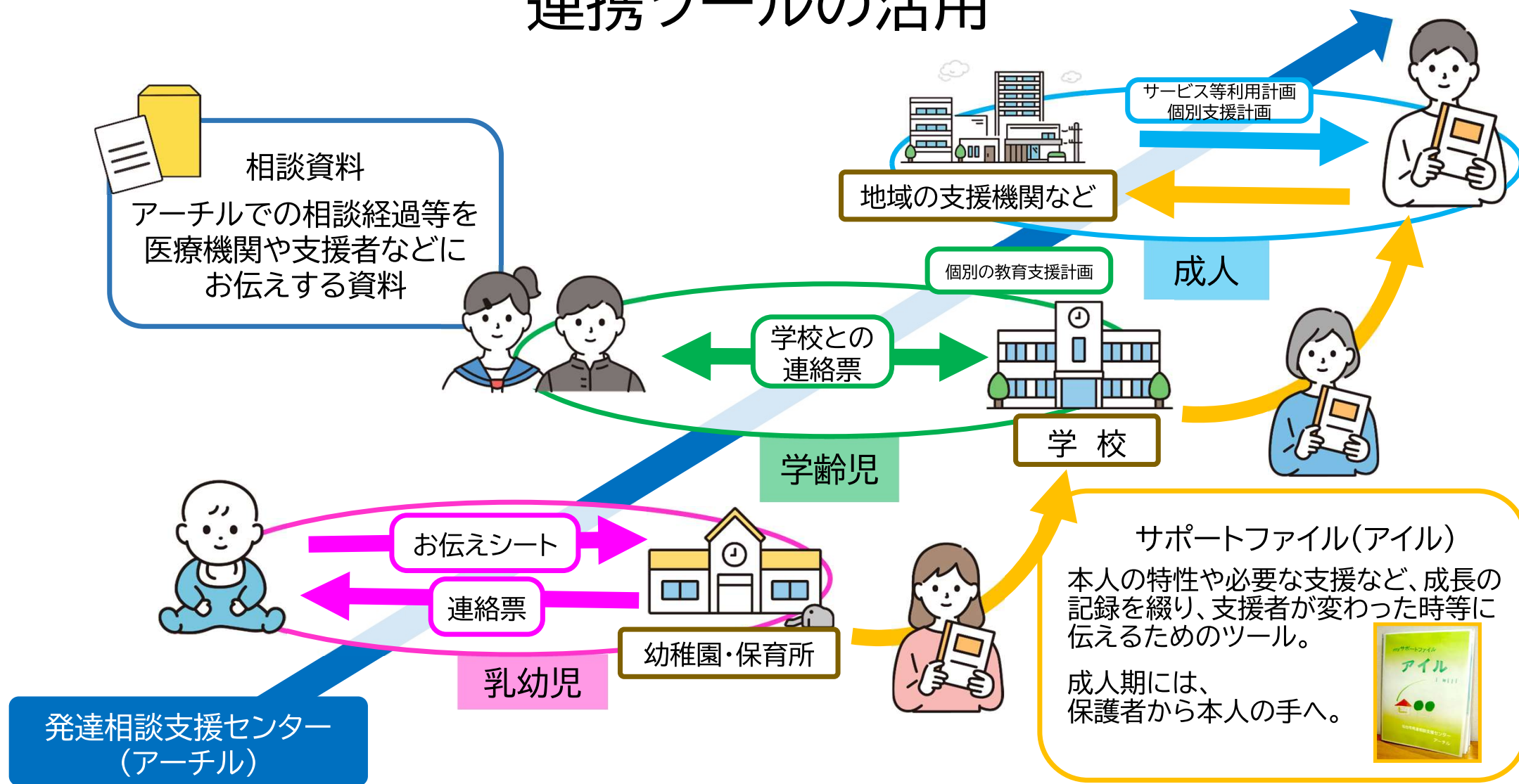
アーチル発達障害基礎講座(初任支援者向け) 第二部

3 地域での発達支援充実に向けた関係機関との連携 ～「育ち」と「暮らし」を支えるために～

縦と横の連携で支える「育ち」と「暮らし」



連携ツールの活用



アウトリーチ(訪問)支援による連携

訪問先の施設等がエンパワメントされ、
主体的に支援に取り組めるよう施設支援を行う

集団の様子への行動観察や
支援者会議の実施

研修会等への講師派遣

アーチル相談前の支援
(一般的な対応、生活面等への助言)

保護者との面談の持ち方や
共有の仕方などの助言

外部スーパーバイザーの同行訪問



アウトリーチ支援の具体的成果

- ・ 個別事例の相談に止まらず、施設の管理職とも支援の視点を共有できたことで、施設全体で同じような困り感のある方にノウハウを活かした支援を行えるようになった。
- ・ 訪問先の地域のネットワーク会議に参加。事例検討や研修会の実施等により、より幅広く関係機関同士が支援の視点等を共有することができた。
- ・ 施設が本人の発達のニーズや必要な支援を家族と共有することができた。



気づいた時がスタート！（必要な支援を届けるために）

・「**診断の有無に関わらず**」合理的配慮の提供等の支援は可能

⇒ 出発点は「**本人の困り感の理解**」（行動の背景に目を向ける）

早期の工夫が、

- ☑ 学習等のつまずきの軽減
- ☑ 自己肯定感の低下防止
- ☑ 周囲との関係改善

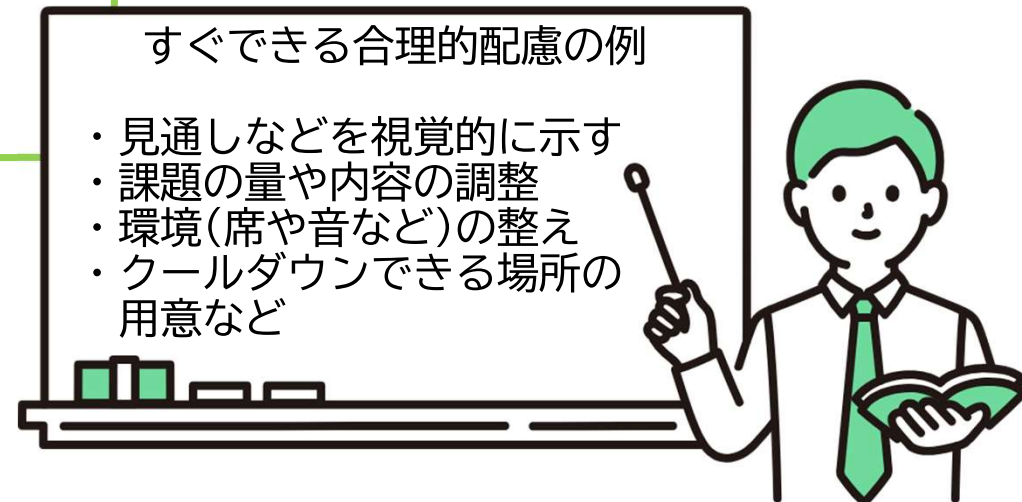
につながる

すぐできる合理的配慮の例

- ・見通しなどを視覚的に示す
- ・課題の量や内容の調整
- ・環境(席や音など)の整え
- ・クールダウンできる場所の用意など



気づいたときが支援開始のタイミング！



民間の強みやネットワークと連携・協働することで、
より幅広いニーズに対応した相談支援・地域連携を目指して ①

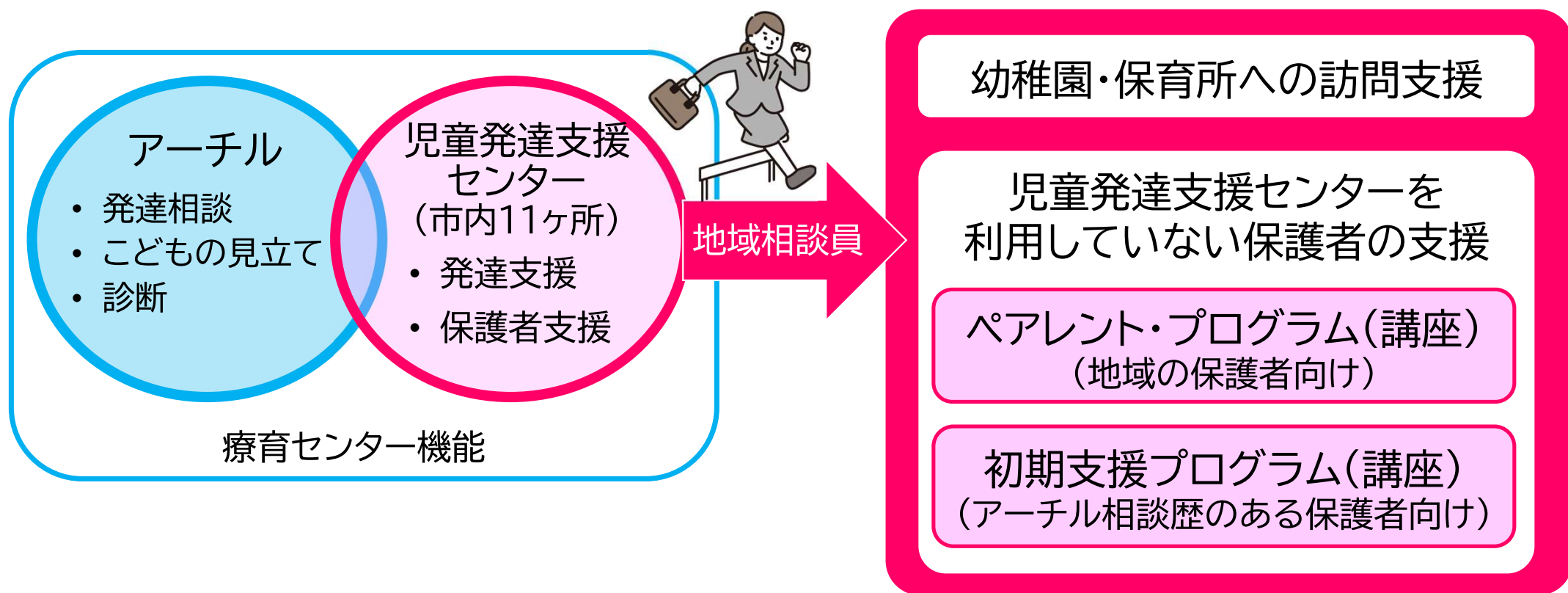
自閉症児者相談センター 「発達障害者地域支援マネジャー」

2つの自閉症児者相談センター



民間の強みやネットワークと連携・協働することで、
より幅広いニーズに対応した相談支援・地域連携を目指して ②

児童発達支援センター「地域相談員」



民間の強みやネットワークと連携・協働することで、
より幅広いニーズに対応した相談支援・地域連携を目指して ③

地域の様々な担い手とともに

【アーチル】

- 公平性・公共性
- 判定・措置
- 支援体制構築 など

本人・家族の
支援ニーズ

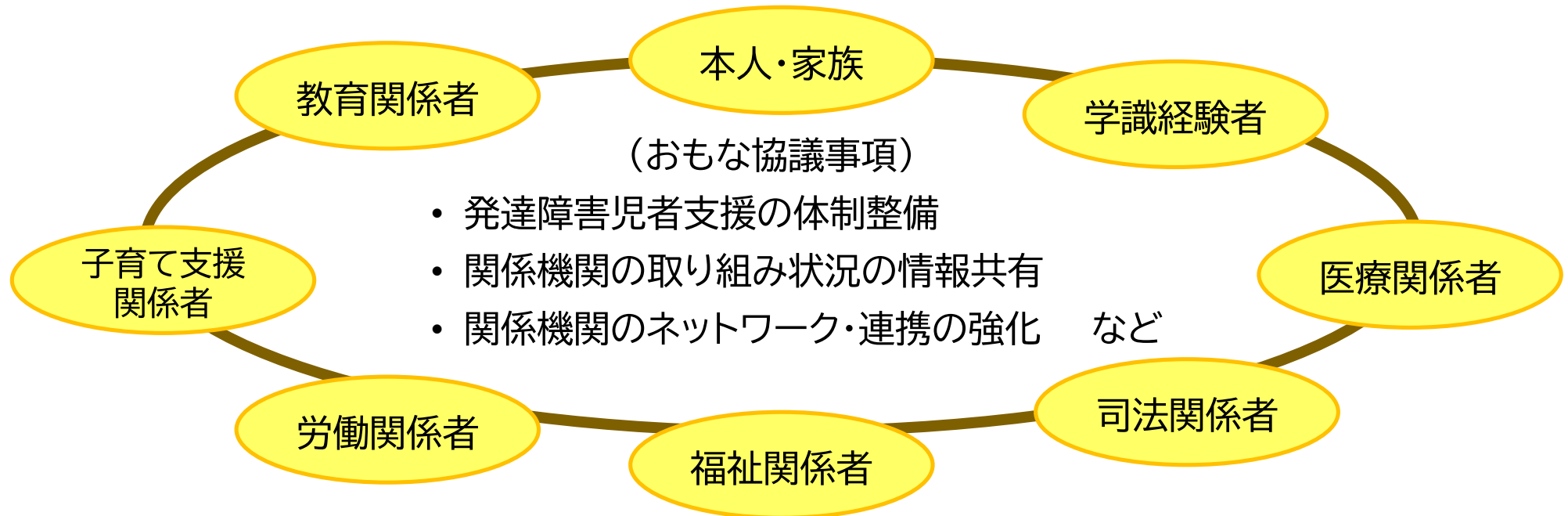


【民間事業所】

(例: 障害福祉サービス事業所、児童発達支援事業所、相談支援事業所など)

- 柔軟性 ・機動性
- 支援実績の蓄積 など

発達障害者支援地域協議会



(令和6～8年度の協議テーマ)

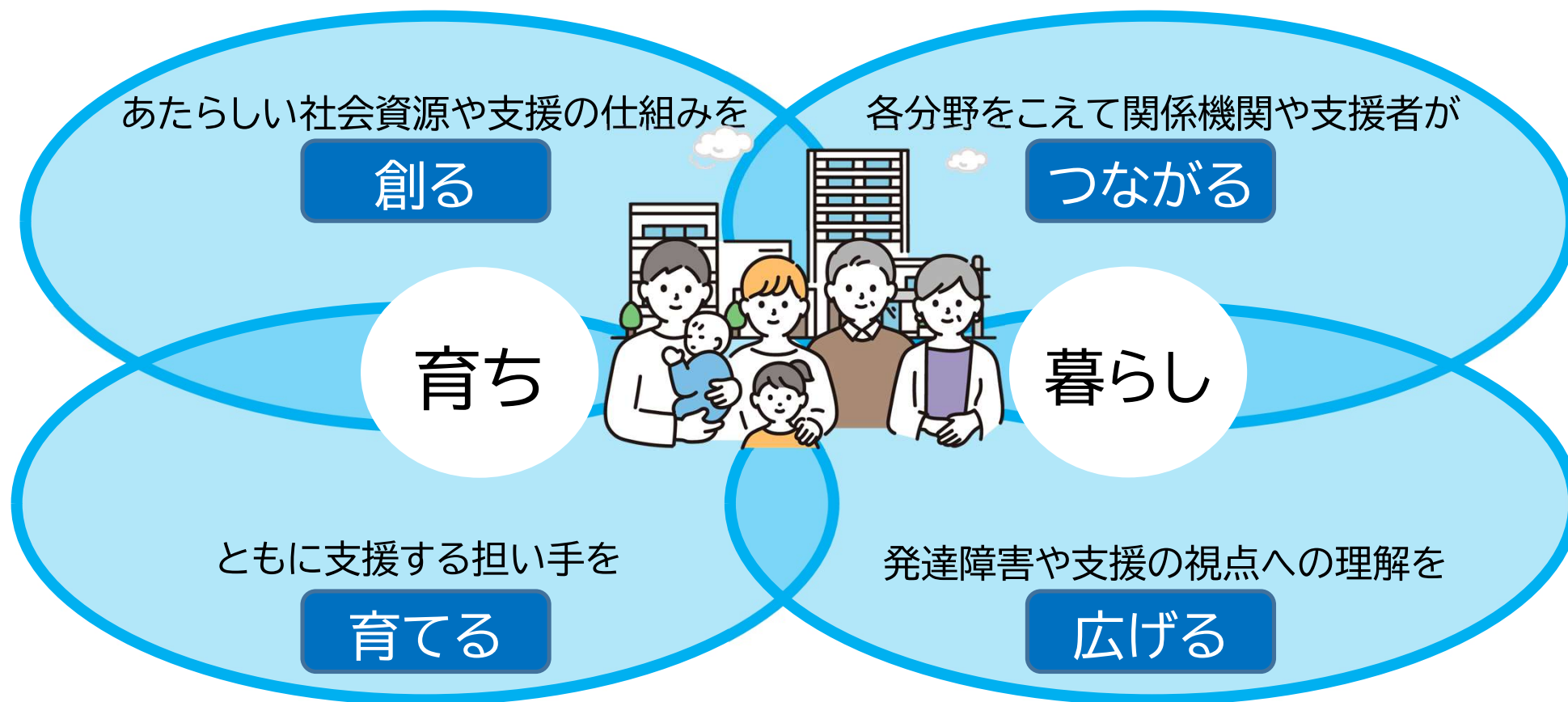
「地域とともに進める発達支援」

本人らしい自立と社会参加に向けて、大切にしたい支援の視点や、地域で支えてゆく体制等についての協議を行う

これまでの協議会の取り組みや
報告書等は、二次元コードから
ご覧いただけます ⇒
(仙台市ホームページ)



まとめ：「その人らしく暮らせる」 地域社会の実現へ向けて



第一部「アセスメントの基本と実際の支援への活かし方 ～行動の背景を探るポイントを中心に～」

- ① 前編（講話）
- ② 後編（事例）

第二部「アーチルの役割機能と関係機関との連携による地域支援」

- ① 発達相談支援センター「アーチル」とは
- ② アーチル相談の現状と課題について

- ★ ③ 地域での発達支援充実に向けた関係機関との連携

＼他の動画もご覧ください！／



アンケート

ご協力お願いいたします

今後の参考にさせていただきますので、アンケートのご協力をお願いします。
皆様のご意見をお待ちしております。

期間: 令和8年12月31日(木)まで

方法: 右記二次元コード又は概要欄URLより
ご回答ください。

